

いじめ防止対策及び働き方改革 モデル校としての取り組み



広島市立五島中学校

モデル校として初年度の目標

意識改革

- 1 ミニ研修を行い、自身の働き方に対する意識を高める
- 2 負担感の大きな業務を整理し、学校でできることを模索する

1 ミニ研修を行い、自身の働き方
に対する意識を高める

1 ミニ研修 校長室通信



PEDAL行動診断

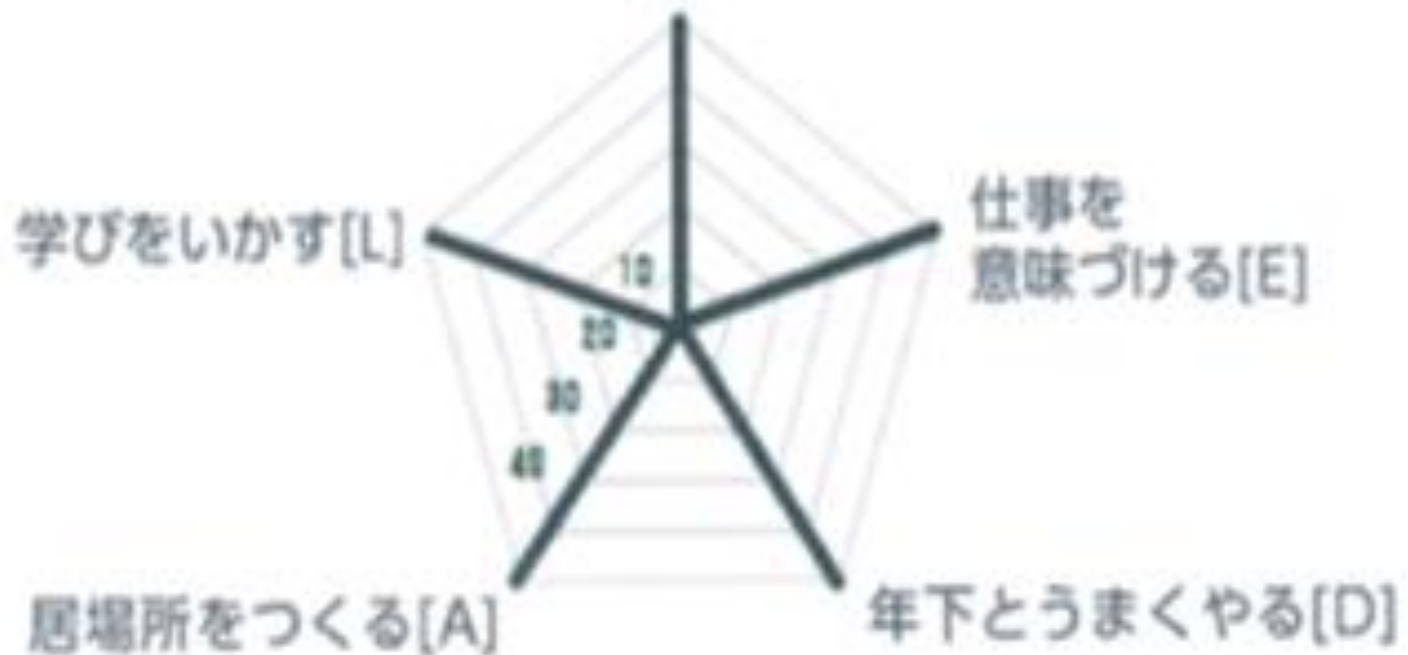
		1	2	3	4	5		
		全くない	あまりない	やや多い	かなり多い	ほとんど全部		
新しいことをやる	新しいことをやる	新しいことは、まずやってみて、確認していいから					a	b
		新しいことが得意でも、まずやってみる						合計
		新しいことを試すなら、失敗してもかまわないと思う						
		試す前にどうのめずに仕事をしよう						[P]
仕事を覚える	仕事を覚える	自分が覚えるどんな意味があるのか理解するようにしている						合計
		会社生活で学ぶ覚えたうえで、自分の仕事を覚えている						
		覚えるどんな意味があるのかも、新しく覚え直すようにしている						[E]
		仕事の覚えるとは、全体での位置づけを考えている						
多様な人々を巻き込む	多様な人々を巻き込む	上司が忙しなくても、自分だけで仕事を覚えることができる						合計
		仕事を覚えるうえで、相手の手助けにはこだわらない						
		部下の人の能力を最大限に引き出すことができる						[D]
		部下の人からも学ぶようにしている						
多様な人々と連携する	多様な人々と連携する	なるべく多くの部門と積極的にコミュニケーションを取っている						合計
		なるべく多様な人々との関わりを覚やすようにしている						
		積極的に異なる意見や立場を聞き取り出すようにしている						[A]
		人とうまくつきあうことが得意なほうだ						
多様な人々と学ぶ	多様な人々と学ぶ	必要な情報を集めて、覚えたことを分かっている						合計
		他の人にも覚えてはまるような仕事のコツを覚えている						
		覚えた結果を自分だけのノウハウに落とし込んでいる						[L]
		覚えたことを多様な人々から覚え直している						

$$[P] + [E] + [D] + [A] + [L] =$$

C

自身のレーダーチャート作り

【作業②】 各項目の点数を2倍(40点満点)し、下のレーダーチャートを完成させてください。
まずやってみる[P]



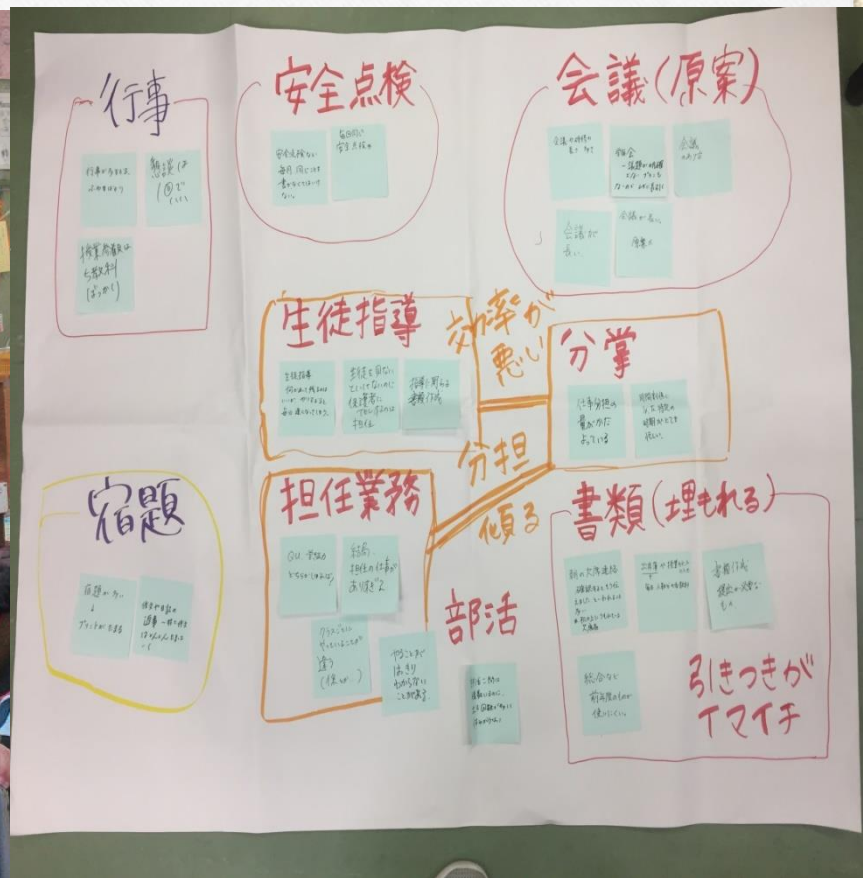
組織の健康度チェック

○

- ☐ 1. 若い人にやる気があり、元気である。
- ☐ 2. 組織の長がこうしたいと思うことが比較的早くみんなに理解され、実行に移される。
- ☐ 3. 与えられた仕事を単にこなすだけでなく、関係プレイを意識しながら仕事をしている人が多い。
- ☐ 4. 経営陣の思いがひとつになっている事がわかる。
- ☐ 5. 経営をサポートする人たち（参謀）がいて、トップが動きやすそうである。
- ☐ 6. 指示に対して不明な点があれば、問い直すのが習慣になっている。
- ☐ 7. 会議の数、時間、資料作成の時間などは以前よりも減少傾向にある。
- ☐ 8. クレーム費等の失敗コストは減少傾向にある。
- ☐ 9. どうせ言ってもムダとあきらめている人が少ない。
- ☐ 10. 問題を先送りしたり、臭いものにフタをするような人間は少ない。

「何とか会社を変えてやろう」より

業務改善の研修会



2 負担感の大きな業務を整理し、
学校でできることを模索する

負担になっている業務は何だろう？

①会議の時間

かかりすぎ。放課後16時から
の会議では勤務時間内に
終わるはずない

②多くのプリント類

印刷するにも配付するにも
大規模校だと大人数。
時間がかかる。

③こまごまとした仕事

安全点検・電話応対・教室整備
・校区内の見守り活動

④部活動

放課後の練習に土日の試合
技術指導ができないことも精
神的に負担

⑤生徒指導

生徒への指導だけでなく情報
や方針共有のための会議や
保護者連絡に時間がかかる。



①会議の時間



- 会議の時間がかかりすぎる。放課後16時からの会議では勤務時間内に終わるはずない。
- 進路にかかわる会議・生徒指導にかかわる会議、生徒数が多いと抱える件数も多い。それだけ時間もかかる。

部会・学年会・職員会議の日は5時間授業にする
会議のルールをつくる

②多くのプリント類



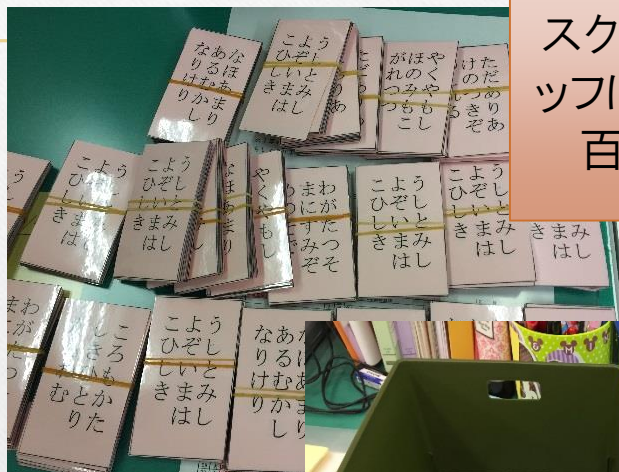
- 印刷するにも配付するにも大規模校だと大人数で時間がかかる。
- プrintの整理がついてなく、必要な時に探すのに時間がかかる。

スクールサポートスタッフの活用
職員会議のペーパーレス化
コンピュータ・サーバー内のルールの確立
職員室の大掃除

スクールサポートスタッフに 印刷業務を依頼



印刷作業をする
スクールサポート
スタッフ



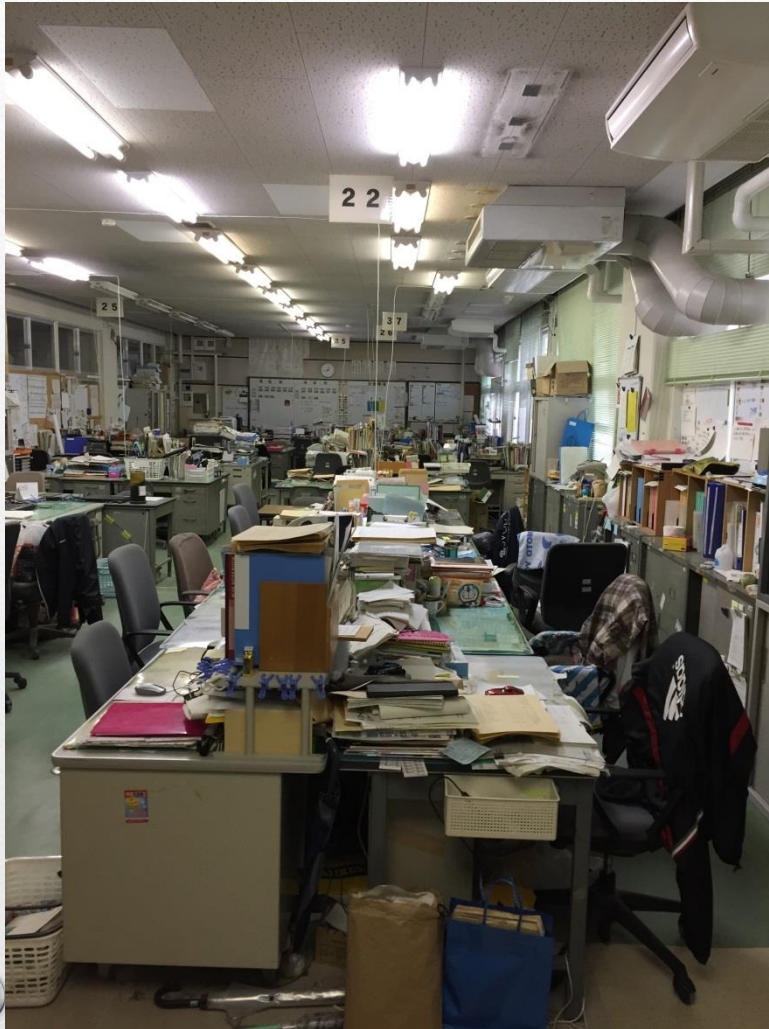
スクールサポートスタ
ッフに作成を依頼した
百人一首の教材



職員会議 はペー ーレスに

コンピューター ▶ 五日市中学校 (¥¥F2) (N:) ▶ a教職員共通 ▶ teachers ▶ 2019 ▶			
整理 ▼	新しいフォルダー		
★お気に入り	名前	更新日時	種類
デスクトップ	●職員会議	2019/11/22 16:07	ファイル フォルダ
ダウンロード	○職員朝会プリント	2019/12/16 15:01	ファイル フォルダ
最近表示した場所	★指導教諭	2019/08/28 16:43	ファイル フォルダ
ライブラリ	1年生	2019/12/02 17:38	ファイル フォルダ
ドキュメント	2年生	2019/12/11 9:19	ファイル フォルダ
ピクチャ	3年生	2019/12/11 8:23	ファイル フォルダ
ビデオ	A_事務部	2019/12/10 17:45	ファイル フォルダ
ミュージック	B_業務部	2019/09/18 12:52	ファイル フォルダ
コンピューター	C_教務部	2019/12/12 15:36	ファイル フォルダ
ローカル ディスク (C:)	D_研究部	2019/12/03 16:43	ファイル フォルダ
ローカル ディスク (D:)	E_生徒会部	2019/12/02 15:45	ファイル フォルダ
FOGOSPRO (F:)	F_生徒指導部	2019/08/29 19:32	ファイル フォルダ
リムーバブル ディスク	G_特別支援教育	2019/08/22 14:17	ファイル フォルダ
	H_進路	2019/12/12 7:02	ファイル フォルダ
	I_成績処理	2019/12/16 12:05	ファイル フォルダ
	J_教科会	2019/11/07 16:28	ファイル フォルダ
	K_特別支援学級	2019/11/18 16:35	ファイル フォルダ

職員室の大掃除





③こまごまとした仕事



可能なところから廃止したり簡素化の工夫をしたりする

朝の欠席・遅刻連絡 地域からの電話

安全点検の
様式の見直し
(押印の簡素化)

留守番電話の
設置

見守り活動の
実施方法の見直し

エアコン・物品の点検準備

④部活動



- 放課後の練習、土・日の試合など時間を費やされる。
- 技術指導ができないことが精神的に負担。

平日1日・休日1日の部活動休養日の徹底
部活動指導員の導入

部活動指導員の取り組み



テニス部員に 実技指導

※本校退職教員



ミーティング



臥薪嘗胆 (テニス部ニュース) 2019(r1)/11/26

11/24全国選抜県予選 団体優勝! 中国予選を突破し、全国への道を!



11月24日、第8回全国選抜中学校テニス大会広島県予選が広島広域公園で行われた。出場を希望する上位3校によるリーグ戦となった。この大会は、ダブルス2、シングルス1による試合形式で、上位2校が中国予選の出場資格を得ることになる。

新人戦では大塚に敗れ、3位にとどまった新チームであったが、見事リベンジ優勝して広島県1位の座を勝ち取った。

1ヶ月後12月21日の中国予選を突破し、3月全国選抜大会への道を切り開いていこう。

<第1試合 学院中 1-2 大塚>
D2 益田・中島 0-6 金子・打田
S 齋 1-6 坂宮
D1 藤井・新出 7-6 安達・山口



第2試合学院中との対戦。D2西本・中島は、どちらも同じくらいの力の対戦で、先にミスをした方が追い詰められるという競った展開となった。こんな試合では、大切なときに1本決められるか、1本ミスするか、で流れが変わる。そんな試合では、気持ちの強さがテニスに表れる。学院の中島は、気持ちが前に出る選手で、チャンスでの前衛アタックやチャンスでのボレーに思い切りがあった。それは、1本とった時の声の強さが一番よく表れている。

西本・中島の二人は、よく二人でコミュニケーションを取りながら

<第2試合 五日市中 2-1 学院中>
D2 西本・中島 3-6 益田・中島
S 廣本 6-1 藤井
D1 藤原・桑本 6-2 齋・新出

<第3試合 五日市中 2-1 大塚中>
D2 廣本・田口 0-6 坂宮・打田
S 西本 6-2 中島
D1 藤原・桑本 6-4 金子・山口



学院中が2敗した段階で、中国予選への出場権は確定した。あとは、新人戦で敗れた大塚との対戦。大塚中はシングルスでの藤原との勝負を避け、ダブルス2つを取りに来るオーダー。それを読んで、藤原はダブルスに回った。オーダーはばっちり読み通りとなった。

D2廣本・田口の対戦は、相手が坂宮と打田のペアでは困難であったろう。数字では0ゲームだが、やろうとしていたことはできたのだろうか。ダブルフォルトなどでみすみす相手にポイントを渡すことはなかっただろうか。

勝負は、シングルスで西本が勝ちきれるか、だと思った。大きなプレッシャーの中で、西本は安定したラリーを展開し、相手のミスを誘って終始優位に試合を運んでいった。初めて団体戦のシングルスで西本を起用しどこまでできるか心配したが、精神的にもプレーにおいても安定していて、見事大役を果たすことができた。しかし、とどろきで戦っているD1藤原・桑本が苦戦していた。西本が早く試合を決めてくれたので、途中でベンチに入ることもできた。

すでに1-4と崖っぷち。二人の顔色もこわばっていた!

さてここで、みんなに考えてほしい。1-4と点差が離れているが、その意味だ。①金子②藤原がいいサーブが入ればキープできる。③山口のサーブをブレイクできず④桑本のサーブをキープできる。⑤金子のサーブキープ。



点は開いているように見えるが、要するに1ブレイクダウン。

焦ることはないのだ。必ず逆転はできる。

問題はここだ。桑本は金子のストロークに対して後ろに下がらずにバッシングに対応できていなかった。「ケア!」藤原は声を出す。藤原は自分が決めなければと力んでラリーや前衛アタックをミス。これが前半の負の連鎖だ。後半逆転したのは、桑本の役割がきちんと果たせたことだ。「金子のストロークがケアできていれば、陸は安心してラリー戦ができる。」「金子が後衛の時はロブで動かす。」後半戦は、⑥藤原のいいサーブが決まりキープ⑦山口のサーブへのリターンが決まりブレイク。これで3-4。つまりスタートラインに立ったのだ。気持ちに余裕ができてきた。表情が違ってくる。⑧桑本のサーブはスピードはないが、スピンをかけて確実にコートに入れた。相手のあり得ないリターンミスが続く。キープできた1-4と点差が離れている。試合は

試合の経過などを書いたテニス部通信も部活動指導員が作成

らは相手を圧倒する強さを持つてほしいと願う。

中国予選(宇部市)は12月21日。すでに岡山県の岡大付属、多津美、山口県の山の田、小郡が出場を決めている。広島県1位代表として全国への切符を勝ち取ろう。

バドミントン部員に 実技指導

※地域のバドミントンショップ経営者



A group of young students, mostly boys, are standing in a line on a wooden gymnasium floor. They are wearing white t-shirts and black shorts or skirts. A male teacher, wearing a black jacket and black pants, is standing in front of them, facing the students. The gymnasium has a wooden floor with yellow and white lines. A basketball hoop is visible in the background. The students are looking at the teacher, and some are holding small yellow cones.

テニス部の場合



テニス部顧問と部活動指導員の勤務時間の関係

	月	火	水	木	金	土	日	事務 的な仕 事内	生徒 指導・ 保護	およそ の合
A						○				
B								1h	1h	3h
部活 動指 導員	○	○		○	○	○		2h		9h
			休養 日				休養 日			

← 平日の放課後の時間確保 →

土日に2人のうち1人は休めるようになる

部活動指導員導入の効果

- 生徒の意欲向上

技術指導をしっかりともらえるために生徒も意欲的に競技の技術を上げることができる。生徒指導面でも大人のいない時間がなくなり、生徒の様子に目が行き届く。

- 顧問の精神的負担軽減

部活動の業務を中心になってやってもらえるので、実技指導に自信がない顧問でも助かっている。

- 顧問の時間的負担軽減

平日の部活動。試合の引率も可能になり、顧問の時間的負担軽減になっている。

今後に期待すること



- 顧問の精神的・時間的な負担軽減のため、
今後も部活動指導員の活用をしていきたい。
- どのような部経営をするのかについては、学校と部活動指導員の連携が大切である。
- 部活動指導員の学校内での立場を整理することも必要である。
- どの部活に指導員を導入するか、顧問の状況など、学校経営を見据えた検討が必要である。



⑤生徒指導



- 急な生徒指導によってしようと思っていた仕事が後回しになり、生徒指導が一段落した後残ってすることになる。

予防的な生徒指導で教職員の
ベクトルを合わせる
教職員全員による教育相談
学級力アンケートの実施

今年度の成果①

- 目標である「意識改革」はある程度達成

年度当初と比較して、あなた自身の働き方改革についての意識は高まりましたか。

肯定的評価 82%

年度当初と比較して、自校の教職員の働き方改革についての意識が高まったと感じますか。

肯定的評価 67%

-
-

「モデル校アンケート調査結果より」

今年度の成果②

スクールサポートスタッフの活用・留守番電話の設置は有効であることがわかった

スクールサポートスタッフの活用によりあなた自身の長時間労働が解消(緩和)されましたか。

肯定的評価 71%

留守番電話の設置によりあなた自身の長時間労働が解消(緩和)されましたか。

肯定的評価 76%

「モデル校アンケート調査結果より」

今年度の課題

勤務時間外の在校等時間の多さ



生徒指導上の対応の多さ



未然防止・早期発見・早期解決が鍵

長時間勤務の解消につながる
生徒指導体制を確立

- いじめ、問題行動の未然防止と
早期発見及び適切な対応
- 教員と生徒との信頼関係の構築



生徒理解のための取り組み

生徒理解のために

- 1 学校生活・交友関係アンケートと教育相談
5月、11月、
3月（1・2年生のみ）実施
- 2 学級力向上プロジェクト
学級力アンケートの取り組み
6月、10～11月、
2月（1・2年のみ）実施
- 3 ハイパーQUアンケート 6月実施

生徒理解のために

4 校内研修会

4月（教育相談の進め方）、

7月（ハイパーQUの分析、

講師を招いての研修会、不登校について
と傾聴の姿勢）、

10月（支援、指導の方法を学ぶ）

5 絆学習プロジェクト

1 学校生活・交友関係アンケート と教育相談

5月 学級担任による教育相談

1 1月 全教職員による教育相談

(生徒が相談者を選ぶ形での教育相談)

3月 学級担任による教育相談

生徒が相談者を選ぶ形での教育相談 【ねらい】

○いじめの早期発見と生徒の実態を把握する。

○困ったことが起きた際に相談窓口となる教員を増やし、早期対応、早期支援を行う。

○より多くの教職員が、より多くの生徒と繋がる機会とし、情報共有を図ると共に連携を図り、「チーム学校」として対応し、学校全体で支援していく体制を作る。

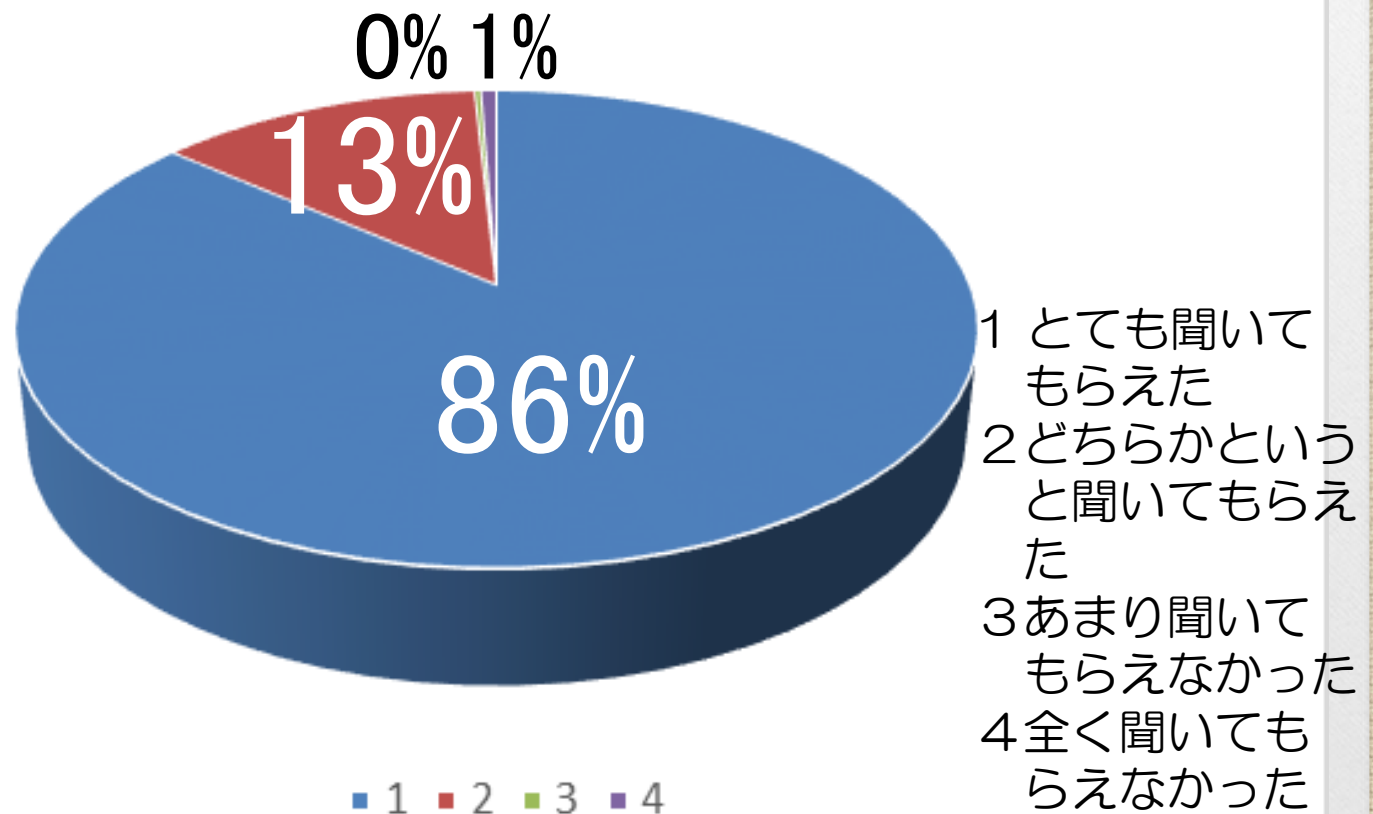
生徒が相談者を選ぶ形での教育相談

【ねらい】

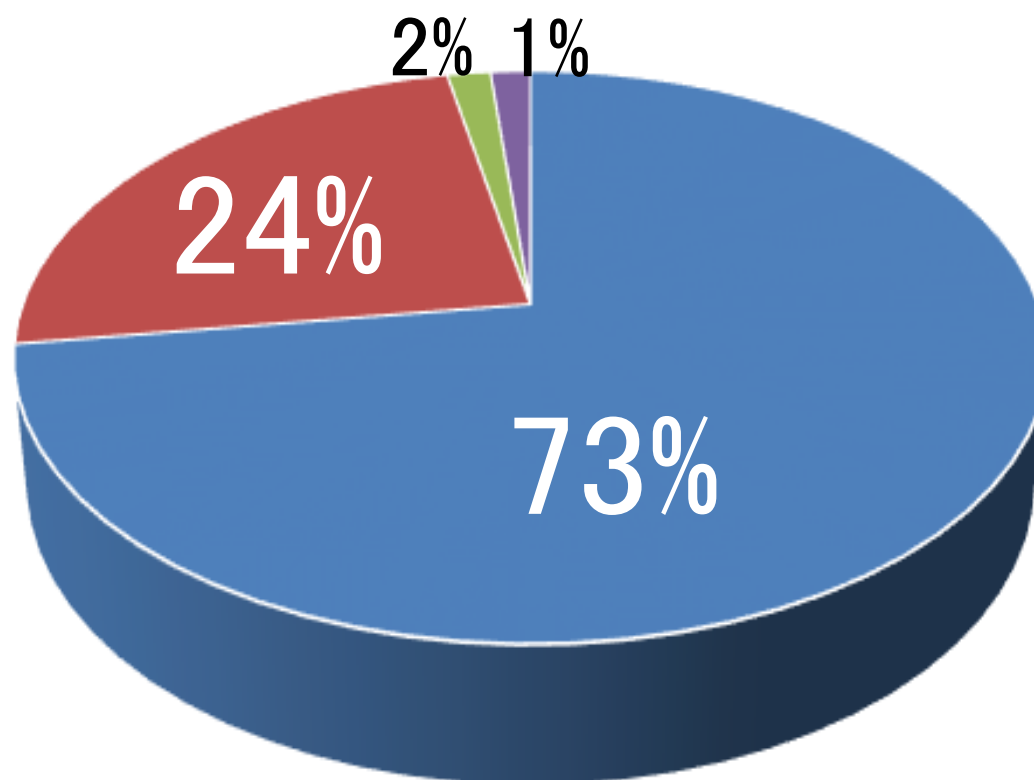
- 面談を「生徒にとって」価値のある時間にする。
- 期間中の担任への負担軽減を図る。
- すべての教員がカウンセリングスキルを向上させる機会をもつ。

アンケート結果

自分の話を聞いてもらえたか



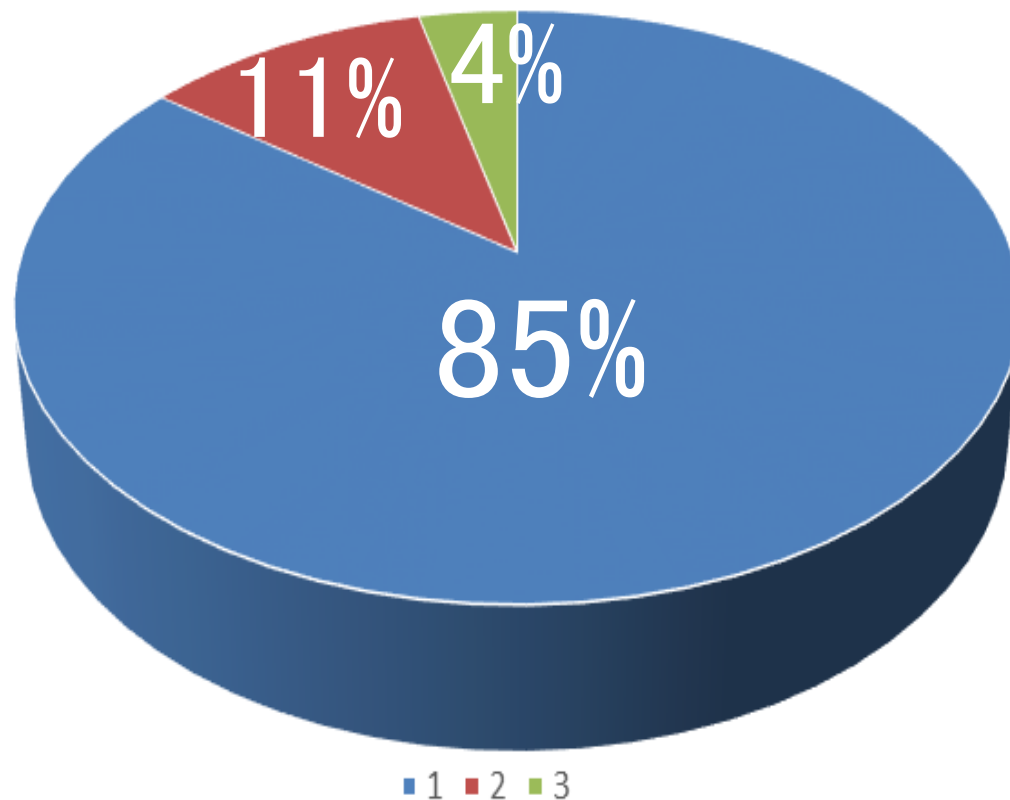
生徒が選ぶ教育相談をどう思うか



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

- 1 とても良いと思う
- 2 どちらかというとい良と思う
- 3 どちらかというとい良くないと思う
- 4 全く良くないと思う

どのような教育相談が気持ちを話したり、
相談したりしやすいか



- 1 生徒が相談者を選ぶ形の教育相談
- 2 学級担任が学級の生徒全員に行う形の教育相談
- 3 その他

2 学級力向上プロジェクト

1) 学級力アンケートのねらい

○生徒一人ひとりにとって心の居場所のある生き生きとした「学級・学年集団」づくりをする。

○いじめを未然に防ぎ、いじめを発生させない学級・学年集団づくりをする〈いじめ防止教育〉

2 学級力向上プロジェクト

1) 学級力アンケートのねらい

- 学級力を向上させるために、生徒たち自身に課題意識と課題解決に参加する意識を持たせる。
- 教師と生徒たちの協同的な学級づくりの取り組みを支援する。
- 学級経営を、個々の担任のものとせず、学年や学校全体のものとして、学級や生徒たちを見守り支える。

2) 「学級力」の6つの領域

領域 1 達成力（目標、改善、役割、団結）

領域 2 自律力（主体性、時間、運営、けじめ）

領域 3 対話力（聞く姿勢、つながり、積極性、合意力）

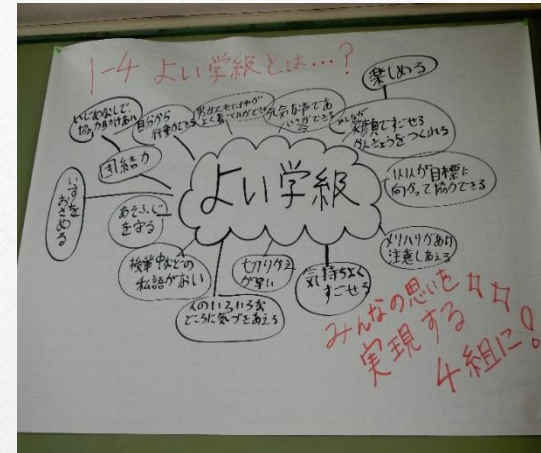
領域 4 協調力（支え合い、修復、感謝、協力）

領域 5 安心力（認め合い、尊重、仲間、平等）

領域 6 規律力（学習、生活、整理、校外）

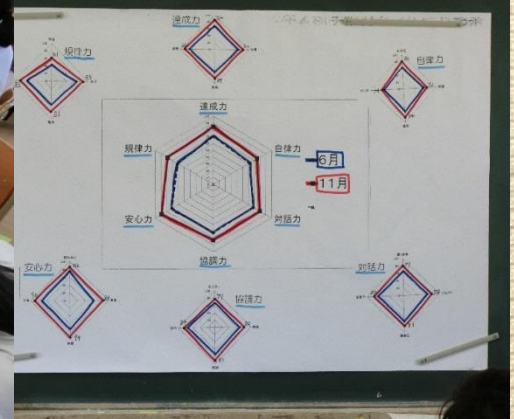
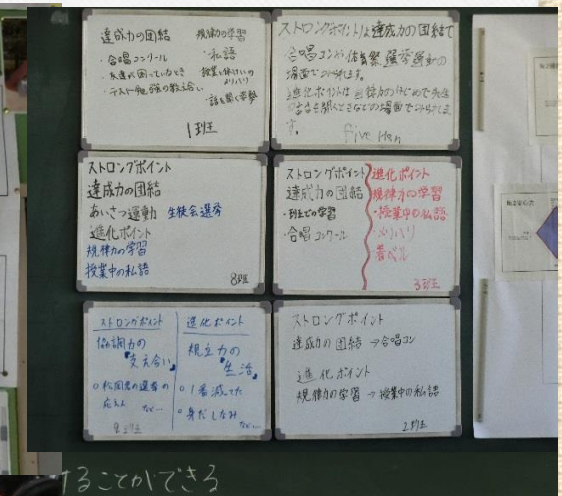
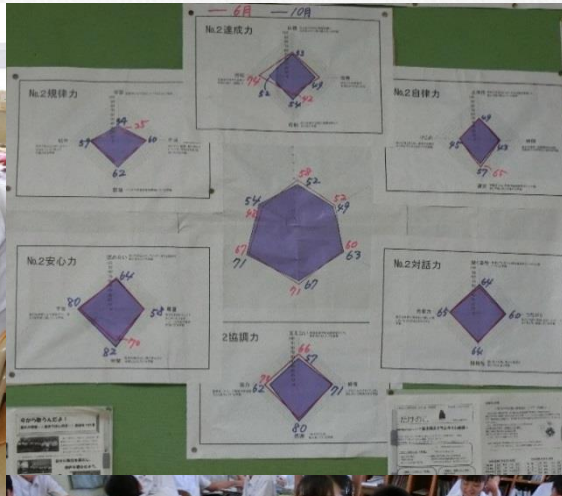
3) 実践内容

スクラムタイム①



- 「いい学級とは何か？」
ビッグ・カルタ
- 第1回学級力アンケート

学級力アンケートを基にした レーダーチャートの分析



スクラムタイムで考えた学級の 『売り（成果）』と『直し（課題）』

6組の**売り**★

【**達成力**】の【**団結**】

行動計画

- ① 行事に協力して取り組む。
- ② みんなが一つの目標を意識する。
- ③ みんなの心を一つにし、優勝を目指す。

🎵の**ストロポイント**

【**自律力**】の【**時間**】

みんな場面が輝き可！

- 集合の時に時間以最集れる。○SHRを早めに始められる。
- 授業を時間通り始められる。○心に余裕をもって行動できる。

成果と課題
を可視化

6組の**課題**

【**自律力**】の【**主体性**】

行動計画 ▶▶▶

- 1人1人が意識して行動する。
- 周りに流されず自分で考えて行動する。
- 声を出し合って考え合う。
- 皆で注意し合う。
- 練習・本番 私語〇。
- 切りかえを速くする。

🎵の**進化ポイント**

【**規律力**】の【**学習**】

次のところに気をつけ可！

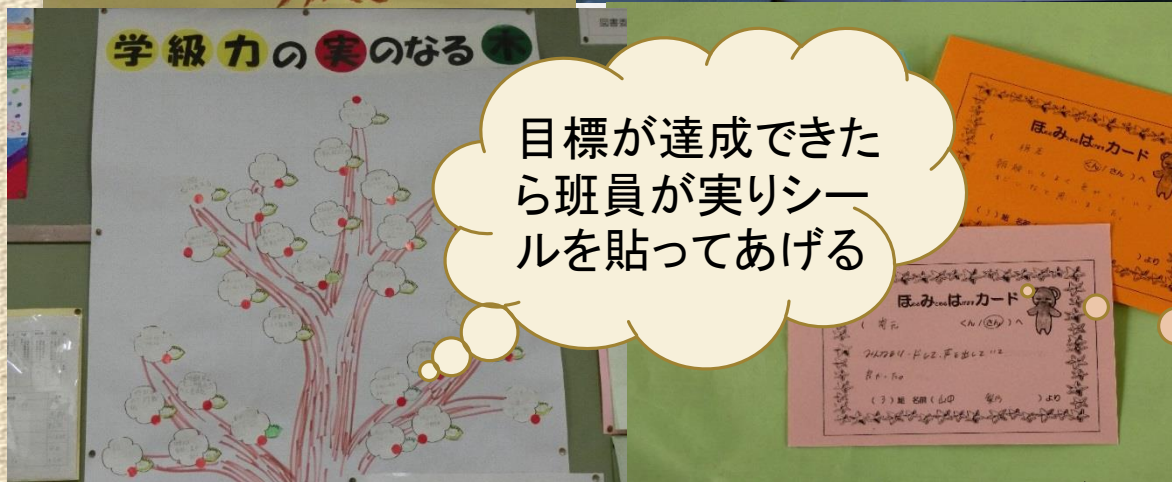
- 授業中、おかしな声がか可。
- 1人1人が意識し可。
- 声かけは「トントン！」をし可。
- 班学習を大切に可。

ソーシャルスキルワーク

- アンガーマネージメント
- 人間関係づくり
- ストップ！いじめ

スクラムタイムでのほめほめタイム

3-2



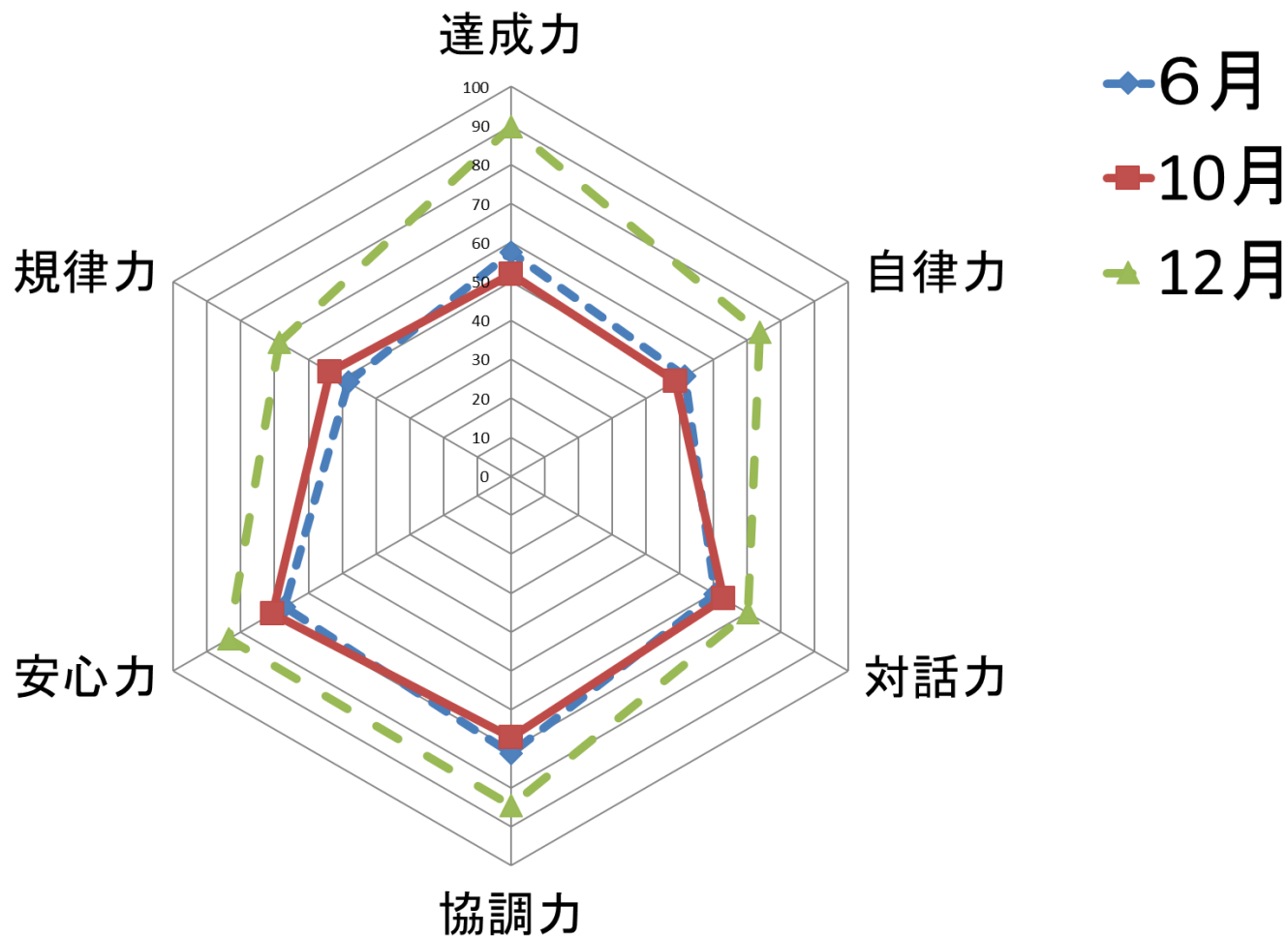
頑張っていた人の具体的な頑張りを書いてあげる

ほみはカード

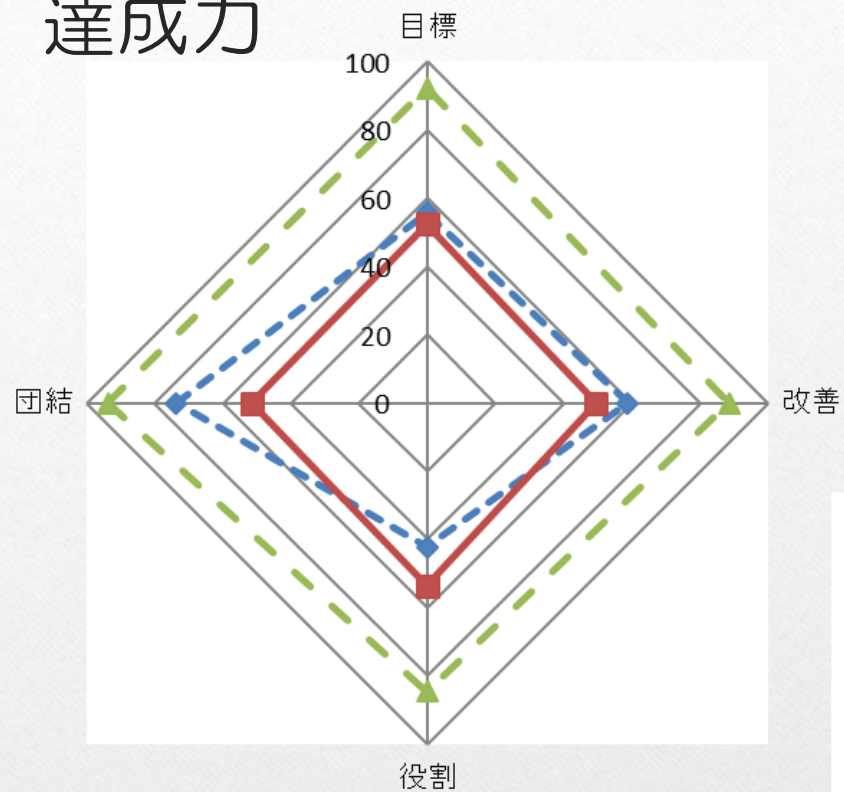
リーダー会での取り組み

- 学級力向上プロジェクトの学級での取り組みを学年リーダー会で振り返る。
- 向上していた項目についてリーダー会で話し合い、『ホームラン賞』として学年集会で表彰する。
- 改善が必要な部分については、リーダー会で話し合い、学年での点検活動等の取り組みに繋げていく。

学級力向上プロジェクトでの 学級の成長



達成力

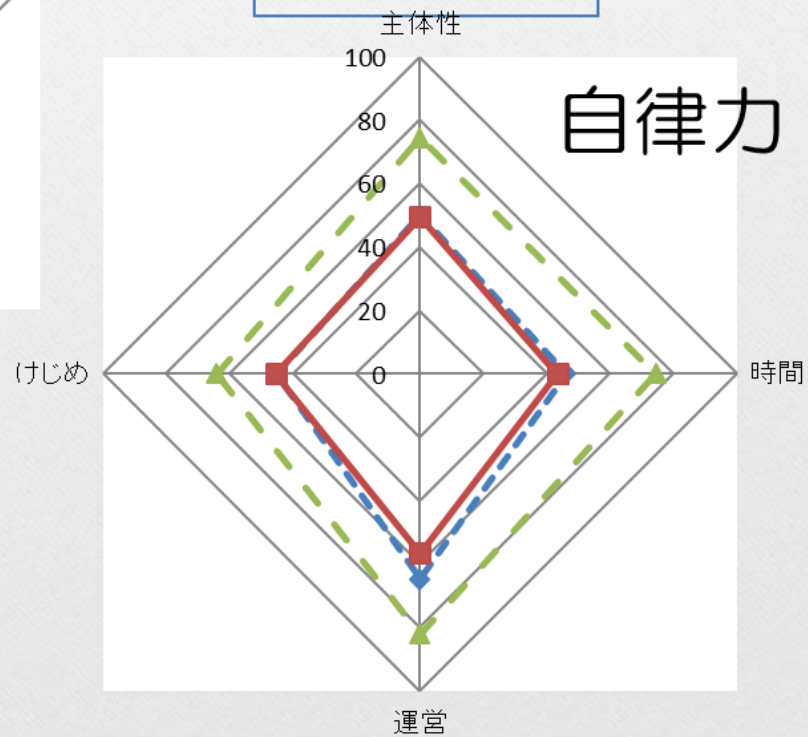


6月

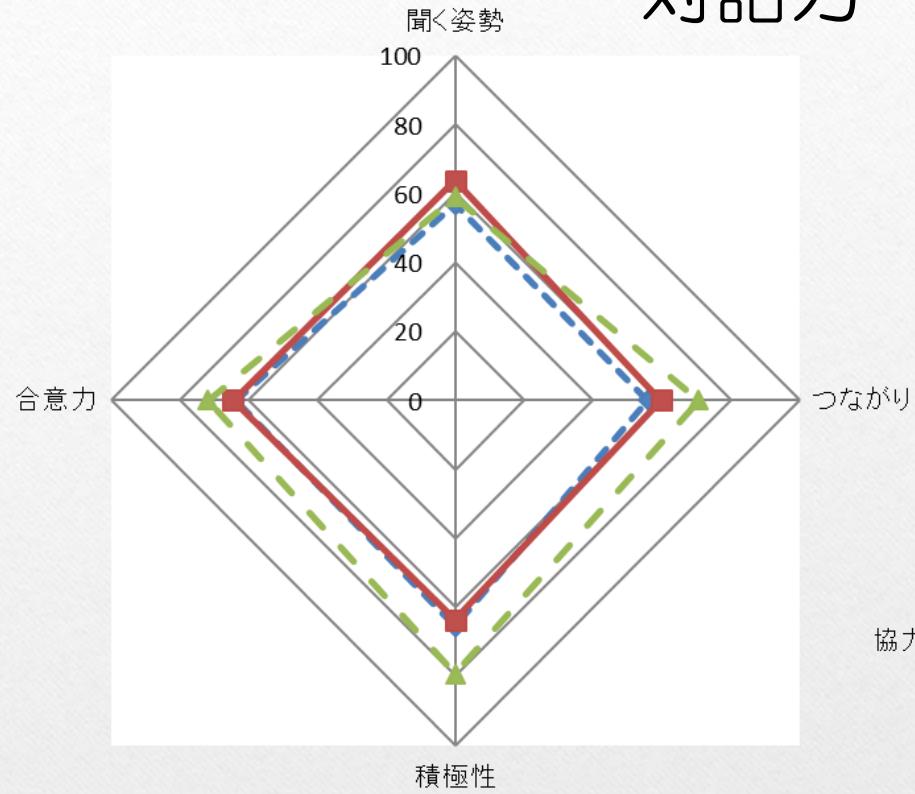
10月

12月

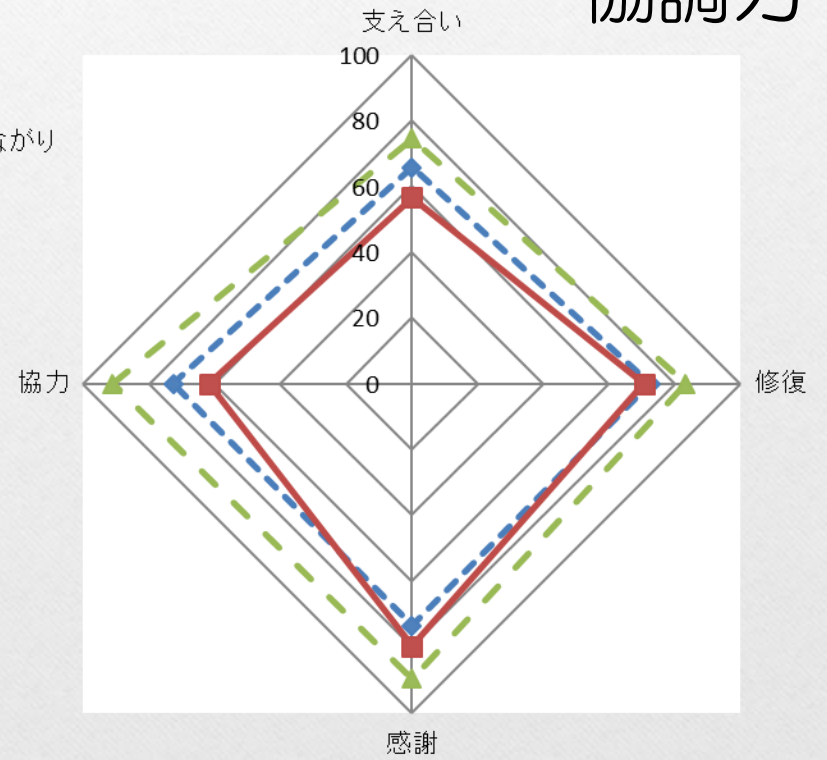
自律力



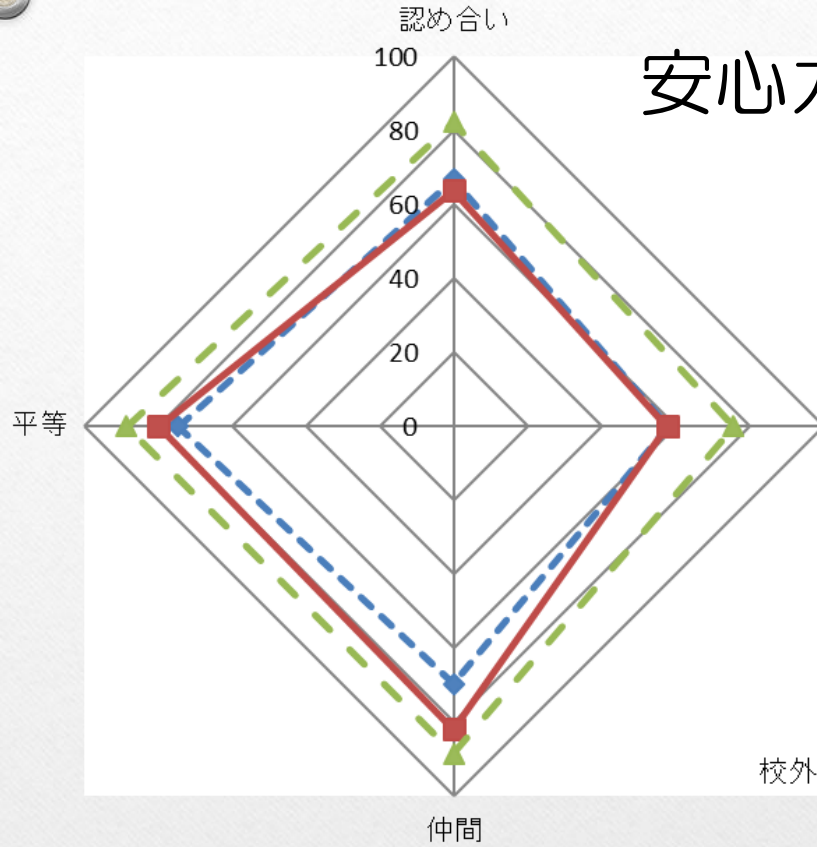
対話力



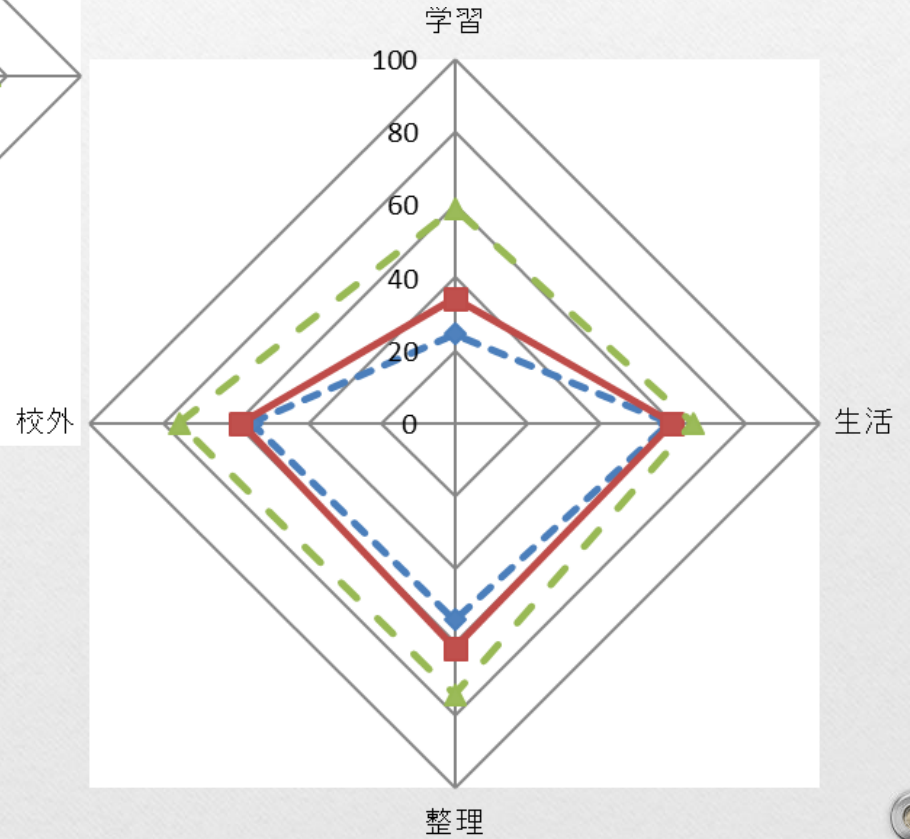
協調力



安心力



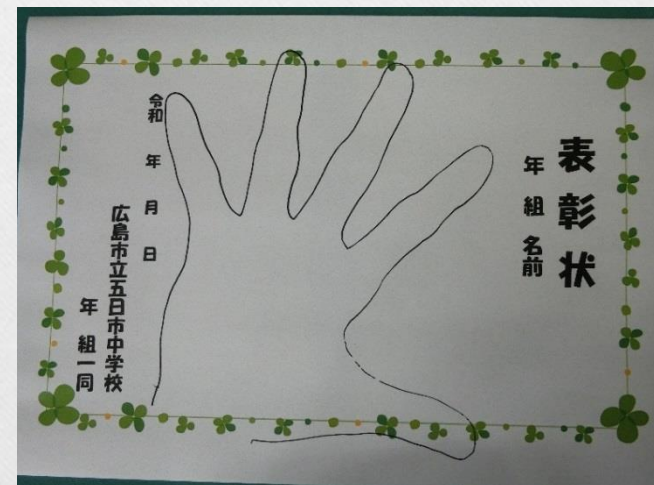
規律力



1年間の振り返りと賞状カード

- 3月に、スクラムタイムでこれまでの取り組みを振り返り、次年度に繋げる。
- 班員や学級の人々から『賞状カード』にその人の頑張りを具体的に書いてもらう。

クラスの人々から
頑張っていたところ
を書いてもらう



次年度に向けて

- ・主な年間行事の精選
- ・執務しやすい職員室の環境整備
- ・会議の時間設定のルール化

未然防止・早期発見・
早期解決できる
生徒指導体制の確立

子どもと
向き合う時間の
創出

教員と生徒との
信頼関係の構築

生徒指導上の対応を縮減

勤務時間外の在校等時間を縮減

ありがとうございました。



広島市立五日市中学校